

くまもと農業経営相談所のご紹介

～経営発展に取り組む農業者を支援する総合相談窓口です～

① くまもと農業経営相談所とは？

熊本県担い手育成総合支援協議会が実施主体となり、経営意欲のある農業者が抱える多種多様な経営課題（税務、法人化、雇用・労務、経営継承、販路拡大等）に対して、相談窓口の一本化と関係機関と連携した支援体制を整備するために、平成30年（2018年）4月に設置し、本県農業者の経営改善に向けた課題解決を支援しています。

② 支援を申し込むには？

熊本県農業会議のホームページから以下のチラシ兼申込書をダウンロードして頂くか、お近くの県広域本部（地域振興局）農業・普及振興課、市町村等にご相談下さい。

以下の、申込書をFAX又はメール等で送付頂ければ、担当者から改めてご連絡させていただきます。

くまもと農業経営相談所
相談料無料

農業者の経営課題を解決するため、専門家等の支援チームを派遣し、さらなる経営発展を支援します。

法人化するにはどうすればいいの？
就農期間や労働管理なんてわからない…
6次産業化や販路拡大に取り組みたい！
経営分析してほしい！
事業継承したいけどどうすればいいの？

STEP 1 経営課題の相談【農業者】
困っている経営課題を、農業経営相談所や農業普及・振興課、市町村、JA等へご相談ください。

STEP 2 支援計画等の策定【くまもと農業経営相談所】
相談内容をもとに、専門家（税理士、中小企業診断士等）の意見を聞きながら、支援計画等の策定と支援チームを組成します。

STEP 3 支援の実施【支援チーム】
支援チーム（専門家、農業普及・振興課、市町村、関係機関等）が支援計画に沿って、農業者の経営上の経営課題の解決を支援します。

専門家はこちらの方々がいらっしゃいます！
税理士／公認会計士／中小企業診断士／司法書士／行政書士／社会保険労務士／弁護士／経営コンサルタント／弁護士／施設アドバイザー／農業法人経営者 等

くまもと農業経営相談所 宛 (FAX可) 年 月 日

農業経営相談申込書

ふりがな	名称 (法人名・組織名)
相談者氏名	
住所 (〒印)	
業種 <input type="checkbox"/> 米麦作 <input type="checkbox"/> 野菜 <input type="checkbox"/> 果樹 <input type="checkbox"/> 花き <input type="checkbox"/> 畜産 <input type="checkbox"/> その他()	
経営区分 <input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 任意団体 <input type="checkbox"/> その他()	
電話 (〒印 電話番号)	FAX
連絡先 電子メール	
相談項目 <input type="checkbox"/> 経営改善に関する事(経営改善、経営診断) <input type="checkbox"/> 法人化に関する事(一戸一人、複数戸法人、集落営農法人) <input type="checkbox"/> 事業継承(第三者を含む)、後継者の育成に関する事 <input type="checkbox"/> 規模拡大、農地の集積に関する事 <input type="checkbox"/> 税(青色申告、消費税、相続税等)に関する事 <input type="checkbox"/> 労働保険、社会保険、労務管理(就業規則等)に関する事 <input type="checkbox"/> 6次産業化(販売・加工)、販路拡大に関する事 <input type="checkbox"/> 補助金、制度融資(スーパー、近代化等)、農業共済に関する事 <input type="checkbox"/> その他()	
※より具体的にご記入ください	
具体的な相談内容	

③ ご支援までの流れ

上記様式によりお申し込み頂くと、中小企業診断士が相談内容の詳細な聞き取りと経営診断に伺います。

相談内容を取りまとめ、会議で決定した後に、関係する専門家（税理士、中小企業診断士、社労士等）等による支援チームが課題解決に向けたアドバイスを無料でを行い、農業者の方々の経営発展を支援します。（専門家の詳細については熊本県農業会議のホームページに掲載しています）

④ 支援を受けられた方々の声

津奈木町 (株) アグリ津奈木 代表取締役 坂口 信行さん

法人設立時だけでなく、設立後の方針としても事業計画は必要だと思っていましたが、事業計画の内容が不安だったので、支援チーム（中小企業診断士をはじめ県地域振興局、津奈木町、JA等）にアドバイスを頂き、平成30年7月に法人化しました。今では従業員も雇用しています。

今後は収益を上げるため、加工部門に挑戦することから、販路拡大について引き続き相談所の支援をお願いしたいと思っています。



宇城市 (株) なかがわ 代表取締役 中川 圭太さん

法人化は以前から検討していましたが、法人化のメリットや負担、法人設立までの手続き等をはじめ、特に、税制、労務管理等について不安がありましたので、支援チーム（税理士と社会保険労務士、県地域振興局）にアドバイスをお願いしました。法人化してから、これまで以上に市場や消費者から信用が得られるようになったと感じています。

これからも、法人経営を続けて行く中で経営課題が生じた際には気軽に相談できる所があることは心強いです。



熊本市 農事組合法人アグリ郷おおい

将来の地域農業を考える上で集落営農組合の法人化を選択することにしましたが、周辺地域にモデルとなる組織が無く、また事業計画や収支予算等についても客観的なアドバイスが欲しかったため、支援チーム（先輩農事組合法人、中小企業診断士、県地域振興局、市、JA、公社）による支援をお願いし、令和2年3月に農事組合法人を設立することができました。

今後は、アドバイス頂いた事業計画等に沿って安定した法人運営を行い、継続性のある地域農業の維持に繋がりたいです。



【くまもと農業経営相談所（実施主体：熊本県担い手育成総合支援協議会）】（事務局：一般社団法人熊本県農業会議）

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 県庁本館9階

☎096-384-3333 FAX096-385-1468 Mail 43ninaite@nca.or.jp